

元気な グループ紹介



一緒に汗

（田舎応援団「あるぎ倶楽部」）



草刈り作業

有木自治振興会は、自分たちの地域は自分たちで創る、地域の支えあい、助け合いの絆を強くする」を掲げ、平成16年に設立しました。平成18年度からは、会の事業のひとつに「都市農村交流」農業ボランティアを活用した地域づくりとして田舎応援団「あるぎ倶楽部」を結成しました。

この取り組みは、中山間地域の人口減少と高齢化による担い手不足など、地域が抱える課題の解決策の一つとして、都市の力を借りて、古里の維持を目指すもので、野菜栽培、自然保全や山村との交流に関心のある都市住民を募り、年間を通じて活動をするものです。昨年度は、福山市・尾道市など近隣の都市住民20歳から60歳代の18人、本年度17人の登録会員があり、地域住民と連携し、地区内の道路・河川の清掃活動を行ったり、遊休農地を活用した農作物栽培体験や、地域との親睦行事への参加など幅広く

活動しています。活動を振り返ってあるぎ倶楽部員は初めての体験で、農作業の大変さと収穫の喜びを、体をおとして感じる貴重な体験となっています。地域の清掃作業や地元の仕事などにも参加しています。

この活動は、都市部から来た会員だけの活動ではなく、地元の方や会員同士の交流もあり有意義な活動で、今後輪が広がればと思います。

田舎応援団
「あるぎ倶楽部」
団長／過田悟（福山市）



交流稲刈り体験

編集後記

合併して3年、国の三位一体改革による厳しい財政状況の中、神石高原町は一人と自然が輝く町づくり」にむけて取り組んでいます。本町の一大プロジェクト「井関地域定住団地整備事業」は、元気なま

ちづくり有責任事業組合」により施行できることを、町民の皆さんの理解・協力によるものだと敬意を表します。「限界集落」の増加するなか、集落営農・法人化・認定農業者の育成ができる、輝かしい年になりますよう折念いたします。（大）